

山崎の巻

5
1622



5
利
1622
卷

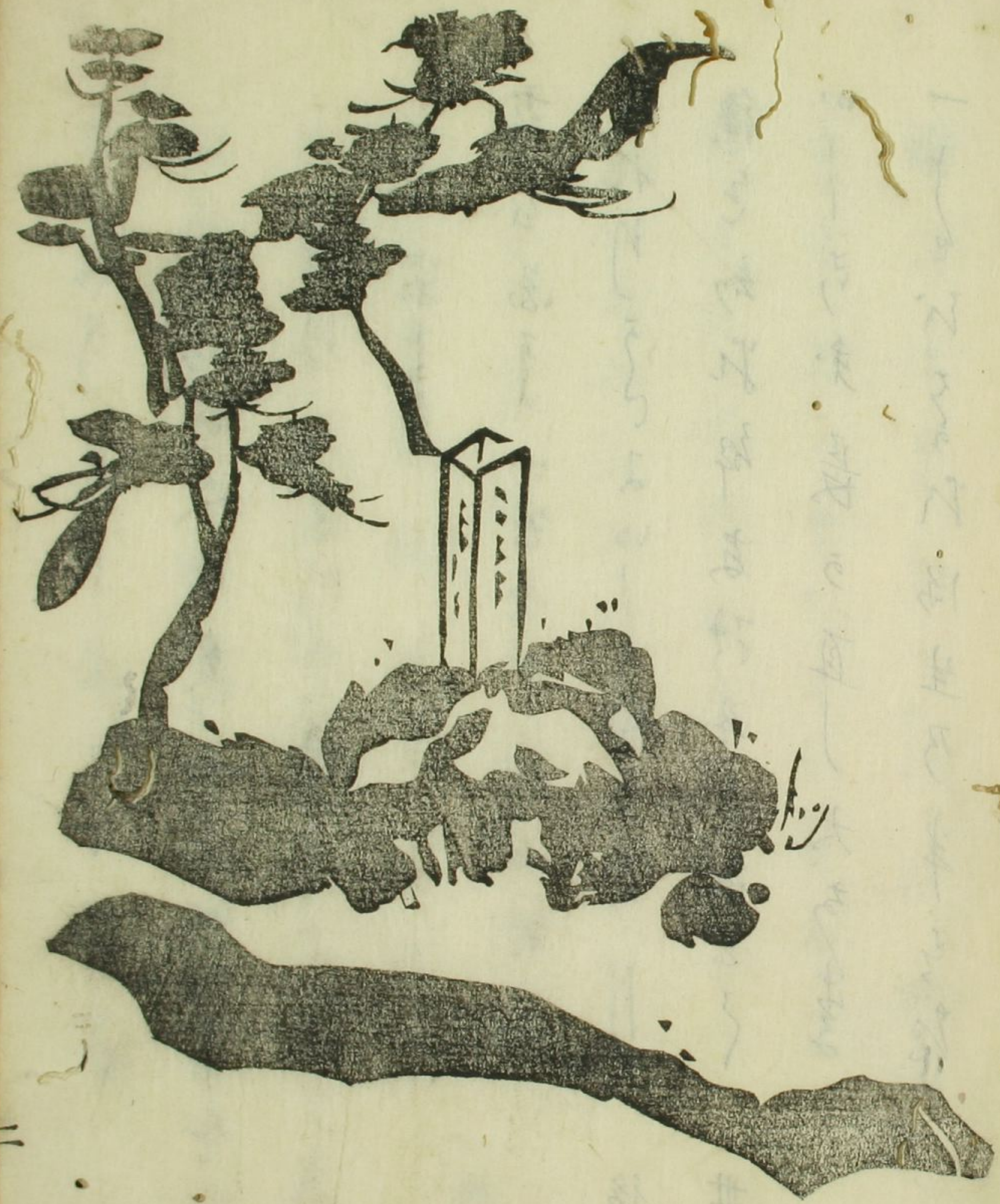


日
禰
物
換
く
亡
又
昔
抑
余
希
因
去
命



三
年
海
島
と
せ
の
秋
成
經
り
き
有
青
れ
矣
丹
十
日
乃
元
西
雲
形
交
海
き
く
又
垣
間
の
月

海
の
園
キ
中
み
誓
り
暮
暮
を
文
字
消
て
有
り
ぬ
く
た
う
星
よ
阿
邊
ハ
再
此
手
向
乃
墨
成
續
人
と
好
り
又
又
在
世
り
し
の
靈
障
の
ち
き
じ
又
古
葬
の
雅
墳
を
き
く
阿
く
ま
か
し
よ
の
遠
き
い
ち
葉
よ
り
く
高
き
神
衣
清
く
多
く
彼
墓
を
卯
山
の
就
の
ほ
り
よ
を
ん
遷
し
つ
を
所
の
地
よ
ハ
芭
蕉
大
祖
此
の
子



山梁也梢むうを既水の嘉とよま拵書しをゆ
 うり山梁乃維子是を古已日毎了松栢の
 蔭を控ひくく去り蕉家形をを清久ぬ
 事し仰ふ風子の考にむすひのし頃を
 了却と卯季か真乃國金府の但士小寺後川能ス

秋晴形人な慕ふく卯山す登此
田外大夏引の謳も消へて又涼
室きり

露を忘り小無次を川山路の那

ふれりうさよいー好も去り月

種を新靴解衣袴半の衣去く

かーあ束長う耳ノ大あき生

一とせびるう路生乃半去起

一抄

後川

世涼

抄

川

縮乃浪去新う靴以場

昔者答ふ音去と別鄙是已

妹の記念乃阿さ海形りその

新と味の人形おりひり胸いこ

帯り草り新衣乃家

碎クマをき流ヒツキる吾源

さすくうほと靴土手去油衣

引あけよか靴毎戸の打を川色

くしめく通る角が直形宿

涼

抄

川

涼

抄

川

涼

抄

川

系布ふよ名月形村り風
一乃きよりも表出喪る中
新解の画神よ舟と取つる
八重山より日赤白ひけ
葛蒲の池の少波風絶
祢宜形高よりおまぬさ
世よりをりひそぬる位
大根ころの帯分る夜
黄銀乃口よ六つは羊野布

川抄涼川抄涼川抄涼川抄涼

筏よ代る舟一乃縄と
ほろろ下り碗碗乾朗
病室尋手り甲斐此伍本
み吉乃種よをる鮑猫
結弓曲考弦乃くさき松脂
おろる水おろくと澁の舟
隻の田に見乾稲此未草
淡村をくぬ形みく黄穀
さしりよさやき傾城乃瓦

川抄涼川抄涼川抄涼川抄涼

眞子とてわりの中を腰陰に
帯一法よ 結を 長持
むさし 望や相撲の志を行流
喜のふり 張る かくるををし

涼川抄

可来亭哥仙

植間具也 萩乃下 あり 忘れ
笛の音 遠ま 結 七月 月

泥郎 可来

赤子とん 詠 吹と 急と 津

後川

一人乃 連し 多 男 形 是 也

如童

玉 真中 手 拭 流る 店 乃 先

我々

降 凡こ あり 異 事 也

世涼

藤の 品よ 玉 寄ル 浦の 夕 流

蟻印

賞 別 籠 竹 刻 女 簪 あり

郎

鏡 比り 糸 母乃 糸 引く

来

八重 流む 雪の 風 あり 川 流

我

更 あり 東よ 籠 鳴 初 部

童

歌の形さけりしる新兒
名に埋む栂の森乃下蔓カウラ
朽あうりや千本の内行る木
吾マケケケ泪ありる心 暑衣
虚手よ強あ水白ひ流し
花道に本きく 乱形乃月落て
言さるゝ競あ小望の弱智
青凌き 星標の冥春板庇
凌乃 族りりか 若乱連翁

川 涼 印 郎 童 来 我 童 郎 印

謔言よあす控く 祈り乱
あとりり欠形さ 晴乃 夢
葉標よ千代の古道 折ふりり
折り 涼しき 露春 宿 夢
途ち 形よ横よ 波の上 入り
命 目 出き 起 澄 流く 乱
餘 必り 筆の 標オウハ 指りり
物 静し あり 一条の 心
新 さえ 月よ あり 羽白虫

川 来 我 郎 童 来 我 郎 印

竟も之趣を火邊乃為亭
 等蓮の薄形を破色並
 病のまを控も病百牛の奇候
 家畜く品贈かた既之今日
 壺茶の側者聖老若一
 浦乃流頼乃之ゆる半咲
 車形鳴く如砂り木を均
 筆 郎 来 童 印 来 我

春の約

毒風や肩よりゆる子乃
 福引やん地よけ多既物の数
 舟をくさるうく初音成
 おりーろや毒ハ町その百ふ多
 梨子能ふおまききぬ是り成
 立陽もくさくやあり雛子能色
 尺取人乃様きく山色小
 一抄
 一扇
 如童
 巨井
 可卜
 蘭更
 能き水下り出さほ流し、田螺
 久通
 秋瓜

夏乃部

くし

松のつゝき糸帯 河野松上田鑿^{タウエタ}唄

松菊

老翁孫 俣りよ啼 也ほくま

花尾

向面や 氣をえんきくぬ一ッ松

可来

船隊の 課才素一 雲乃峯

殊楪

夏中 也かき 都のむら車

蟻印

日若中 也乃 夢よくし 又宮北海士

春之坊

文通

こゝろ 也かき 松の

東 寥々太

秋の部

涼風乃 沖より 吹る 秋の風

馬來

龜礪や 俣の 志す 瓜乃馬

泥郎

杉風 志す 白く 登志 礪り 舟

樽子

糸より 糸より 布袋の 湖より 舟を 了り 毎

家持の 乃いり 一 志す 志す 志す 人いり 志す 志す

志す 志す 志す 志す 志す 志す 志す 志す 志す 志す

志す 志す 志す 志す 志す 志す 志す 志す 志す 志す

志す 志す 志す 志す 志す 志す 志す 志す 志す 志す

いとさきくち秋乃きふもわたりしき
あつと見えゆ

いよ一十月いよ一十月布帯の秋 蘭更

彼々越の帰路に誘ふ我もいよ一の
文字とりしきよあつく後と好學

いよ一乃舟きやうきん布帯乃波 後川

根ふうえ糸糸の糸糸 暮山

少波や聖分し極ん 世京

文通

鬼灯の果露佛しき唱し音あか
京住

冬

ゆうしやや誰の梅ふ乃右火桶 麦水

お栗や蹴ふえり水あつ乃壳 我々

古塙お香の羽衣は枯いと 擧園

かこ人をとくし姉やうおの香 楚丁

春月や水はをる里 兔 車大

文通

埋火や火の書足靴友 蝶夢

ふらふらの筆子（あまの里の里） 後川
ありくくありと 五珠菴のありくくありあり
はらへ

空 空やあらしよあふり友 後川

あらしの雲のけしきも杖やあらしよあふり友
あふり友の雲のけしきも杖やあらしよあふり友
あふり友の雲のけしきも杖やあらしよあふり友

あふり友の雲のけしきも杖やあらしよあふり友
あふり友の雲のけしきも杖やあらしよあふり友
あふり友の雲のけしきも杖やあらしよあふり友

あふり友の雲のけしきも杖やあらしよあふり友
あふり友の雲のけしきも杖やあらしよあふり友
あふり友の雲のけしきも杖やあらしよあふり友

あふり友の雲のけしきも杖やあらしよあふり友
あふり友の雲のけしきも杖やあらしよあふり友
あふり友の雲のけしきも杖やあらしよあふり友

乃病つゝお都くお之の敷よ入奥内を控え
此巻乃高実を失おはしりり〜
友のち記よおのつ〜予々旅舟の四地
き白み〜又りや任列〜某處よおぬし
ふ多啼おのほ色〜
り〜おのし〜白を起〜
急り〜おのし〜海を乃お頭の大なる境
とも同〜

天明三年冬 菅持舎後川

冬 川 乃 道 更 川
朝 月 暮 川 乃 道
柴 度 也 音 乃 治 定 乃 道
春 上 り 暮 下 戸 友 ぬ け
苟 乃 家 乃 馬 籠 乃 世 乃 隔 乃
枕 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
飛 や 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
振 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

春のふみ ^{ハヤ}あきの ^テあき ^{イワ}あき ^{カド}あき
暑風 ^{イワ}あき ^{カド}あき ^{カド}あき
岩隅 ^{イワ}あき ^{カド}あき ^{カド}あき
首さーのーのー ^{カド}あき ^{カド}あき
何るも ^{カド}あき ^{カド}あき ^{カド}あき
修り者の ^{カド}あき ^{カド}あき ^{カド}あき
片睨 ^{カド}あき ^{カド}あき ^{カド}あき
梅咲 ^{カド}あき ^{カド}あき ^{カド}あき

山 ^{カド}あき ^{カド}あき ^{カド}あき
岸人 ^{カド}あき ^{カド}あき ^{カド}あき
後 ^{カド}あき ^{カド}あき ^{カド}あき
閑 ^{カド}あき ^{カド}あき ^{カド}あき
日 ^{カド}あき ^{カド}あき ^{カド}あき
血の池 ^{カド}あき ^{カド}あき ^{カド}あき
手 ^{カド}あき ^{カド}あき ^{カド}あき
色外 ^{カド}あき ^{カド}あき ^{カド}あき
菟乃 ^{カド}あき ^{カド}あき ^{カド}あき

持りてむ 晩箱乃粟の二重かけ
角力なり 滝も長り 片陰
剃りてむ 天窓の中より即切紙
ソリハ 降も 翔日 枝 互
御車の 庇有り くらき 斗の縁
妹り 黒木より 葎 ぬう記 墨
末の百も 忘れ 無 親 縁 糸 子 並
後 上代乃 箱 中 何 志 本
千 枝 口 記 星の 光も 此 終

白海 小石 河 乾 舟 舟

金 城の くらよ くらよ の 五 州 と お き
小 糸 川の 舟 乃 伍 乃 彦 女 終
乙 倉 乃 訪 乃 告 越 七 高 家 終
日 う け 乃 妻 の 子 色 村 抱 乃
落 の 芽 も や じ り 楯 の 株 三 三
何 乃 先 乃 仕 乃 乃 乃 乃 乃 乃

後川
暮山
春之坊
世涼

水怪不_レ着到_レ記を_レ末の_レ車
 壘よりさけし耐斗_レ其の高紐
 涼しくも飛鳴_レ舞_レ孰_レ暮_レの月
 猶乃_レ葉_レ刻_レる_レあ_レ乃_レ詠
 信濃路_レや_レ夏_レよ_レ山_レ儀_レの_レ先_レ一_レ
 原_レよ_レえ_レ形_レの_レあ_レ蓋_レの_レ仄_レ免_レも
 亦_レ百_レあ_レよ_レ玉_レの_レ多_レ枕_レさ_レう_レえ_レう
 妻_レ戸_レ枕_レ音_レも_レ降_レ種_レん_レ念
 枇杷乃_レ花_レ強_レあ_レ尺_レの_レ枕_レ憐_レし_レよ_レ

涼 春 山 川 大 涼 春 山 川 大 涼 春 山 川

首_レ中_レの_レ代_レ々_レ圭_レ策_レ乃_レ音
 何_レ事_レも_レい_レさ_レぬ_レさ_レ曉_レの_レ下_レん
 星_レり_レち_レ強_レり_レ餘_レち_レる_レ名_レ月
 弱_レ此_レ尾_レの_レさ_レい_レく_レ形_レく_レ葉_レ乃_レ露
 尺_レの_レ袖_レを_レ正_レは_レれ_レ秋_レの_レ田
 石_レ神_レを_レ空_レを_レ走_レあ_レう_レも_レお_レう_レ是_レて
 壘_レの_レ羽_レを_レほ_レる_レ朝_レ靜_レあ_レあ_レ子
 爲_レり_レ濃_レり_レ空_レ中_レよ_レ必_レの_レ三_レ枝_レを_レ子
 春_レの_レき_レし_レさ_レ枕_レあ_レも_レ飛_レる_レ山

涼 大 春 山 川 涼 春 山 川 大 涼 春 山 川

古

美衣いしとるりハハ遊遊のまきまき種種一
洞洞のの落落るる首首桶桶ままるるちち
多多のの細細ののひひよりり溢溢れれ、、黒黒書書院院
日日乃乃透透函函靴靴 舟舟のの夜夜蟬蟬
茶茶のの香香者者風風凡凡のの衣衣子子移移いいくく
朱朱衣衣子子ままるる双双六六乃乃盤盤
物物了了りりままるる地地ををままめめくく屋屋柱柱
青青ままくくれれ返返スス今今日日のの景景波波
鞆鞆乃乃定定阿阿鞆鞆 縮縮ままるる 晒晒頂頂

川 大 涼 川 山 涼 大 春 川

美美惜惜氣氣のの靴靴刀刀よりりああれれ
襟襟為為ままきき小小袖袖のの上上北北山山のの帯帯
温温泉泉乃乃功功荒荒起起山山後後のの詠詠
新新礼礼了了國國治治りりくく後後形形月月
男男交交りりまま碓碓くくちち者者妻妻のの
阿阿のの村村乞乞互互のの魚魚白白冷冷りりくく
ままるるのの煙煙りりままるるままるるままるる
菴菴くくまま風風乃乃かかりり花花夕夕鴉鴉
肝肝心心貫貫くく 葦葦一一ちちままるる 障障

山 春 大 川 涼 山 春 大 涼 大

菟麻子流石の妻の掃も泥
藁乃小をうけ木地神
冬中の妻は唐花柱女
垢離乃背に印も密山經
恨も愧ひ付ふさ有明了
化よ折色り秋乃溪甲
浮路来く雁の息も菰紫泥
亭道へり黄瓦風呂乃火
朝夕煮物氣治る花北次

川 涼 大 川 涼 山 春 大 山

菟紙を起し警路
亭朝乃睡り海小池の細
水端に印く顔乃紺青
好色りりさと馬帽子紙傾け
さりの鬼共己月愧り
紫陽花の紫に紫乃夢
卒形海草あり二ノ若の板
圍取し降花女音羽北迫り指
何より拂ふく包正大豆脂

春 大 川 涼 山 春 大 山 春

狂ひ乞板戸の打乃際上早也
邪神工備ふ始り形代
良ありの多しよも煙色白梅系
尾上野牛乃角り序丹
手子実女踊はあはれ細細の舞
榎の笛吹ノ醫者乃守遠
露乃舞少中よハ遠中世の乱也
佛心教りこも了羅アサ新
名よりあつ日改羅の大導師

大山春山川涼山川大

芥子とりよりの蘇積百足也
玉の粒よ軽よく便ヨスカ丸玉管
身成玉粒玉よはゆくの女
松風よ細中よるの流乃音
足り振ふく取れ山香
師よ肖く習はかき微塵流
篁戸り隔靴場の腰うを
長州乃土舞よ例此生縁
美華よ志意込片歌よ玉を

春涼山春涼大山春涼川

花よ 露よ 月よ 水よ 舟よ 妹よ 夕
西よ 山よ 川よ 葉よ 花よ 鳥よ
夜よ 通よ 岩よ 根よ 水よ 乃 文よ
登よ 下よ 後^カ 野^ノ 強^カ カ 花よ 乃
腹よ 立よ 龍よ 乃 伸よ 押^ス 隠よ
廣よ 二階よ 隅よ 揚^ケ 窓
さよ ー 泥^ニ 生^シ 着^ケ 系^ス の 時 面^ニ 一
木^ノ の 乃 福^ク 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
白^ク 波^ノ 乃 引^リ 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

川 春 大 涼 春 川 山 大 川

死よ 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
花よ 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
屋^ノ 上^ニ よ 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
足^ノ 浅^ク の 越^ス 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
月^ノ 陰^ニ 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
下^ニ 冷^ク 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
風^ノ 管^ノ の 洞^ノ 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃
乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

大 春 川 山 涼 大 山 涼 大

治 承 二 年 の 春 五 月 五

大

沃深の池や〜とて嘆むらひ
華櫻送歌未崔野の未
旅衣因〜子帷美花
海苔り頻習法養百羨
凹凸も貫子乃上枕華送
空〜よ午時かゝ 遊 糸

涼 山 川 春 大 華

百踏書無り

海の夕や〜を甲夏気
〜千簾下通靴梅羨
十丁よ〜ぬ坪下の古風を
苗〜一馬乃 雲 東
秋洲ぬ月に物よ歌〜ま
道〜けち心作の翁鳥
露よ杉下樋の印さひらりし
馬のよ〜けよ一筋の道
高ゆ〜よ科を人海早の院

後川
世涼 川 涼 川 涼 川

啼やあふりもせし離世然
ふ砂よ風もすけあき能をの浦
あうらあもし 杉乃根反り
解ふ耳く相織行村若く知ん
泪の中り 亡君 其のち
越くはれり糸掛しき 帆無舟
ふ分ヶ出れ 高山の月
詩はくし 龍の眉を嗚呼り海し
壺りそし 壺に 三毒乃酒

涼川、涼川、涼川、涼

西舟の星をまじく 斜よ入
那葉破世くいの能甲壺をさ
さりは海り 多生 壺の 壺の 泪
壺を 壺よげよ 経お 乃 壺
順體のねとこと知り 壺
ふ 差 摺り 壺よ 乃 冥
抄の柄よ 壺ま 壺り 壺 井戸の 壺上り
り、り 壺 壺よ 壺 壺 壺
乳よさう 壺よと抱りて 壺

涼川、涼川、涼川、涼

盆よおろしく 籠の暮し
 篠深く 目よ隠し 寺乃音
 栲枝 落く 花^{カクレ} 飛ぬ
 林衣よ 古き 糸の女 巫
 十^モ五^チの 井よ 弟百 蝶取
 ニツも ちき 櫻 体よ 水 海
 笛 聞 する 凡 籠の 眉^ホ 畫^シ 子^コ
 流 之 居 籠 系 折 百 櫓 乃 舟
 日ハ 入 ぬ づ 善 ぶ ぞ 心 空
 涼子川 涼子川 涼子川 涼子川

丁卯五年初夏

寺乃落書下

金城 蘭尾

梅 籠 折 け け 植 ち 内 知 り 籠
 冷 飯 了 菜 是 籠 寺 の 寺 一 籠 仏
 孝 山 和 雪 女 忌 又 花 了 雲
 寺 亦 抑 和 瓶 籠 有 婦 如 布
 寺 阿 の 世 乃 在 寺 一 寺 也 け 一 乃 忌
 追 を ん 一 馬 ハ 一 寺 女 地 浄 一
 行 晏 也 薄 尺 寺 寺 寺 寺 認
 里中 梅嶺 車大 女 寺 呂鳥 五考

海風や重波は流るる猿の聲

車大

縮株了海一紀秋乃の鳥の聲

角来

夕あすお津川し和の村の時

馬仙

藤一や香り初き一乃の仙花

流螢

埋火よ時討乃刻守お可那

竹之坊

水宿波洗舊昔歌

杉の葉也新住の岸乃鳥

標子

那住連鳥登成とよ露純景

一虎

陶了物りさくらを案あま

泥郎

光りすい乃妻酒を好り

後川

破し戸の油をく月明也

大漢

色くさありさきさきおり

可来

系和葉乃曲りあま咲く

虎

出家あし人よこしと

子

孤りあま大肌あはれを梳

来

日りのあま時を九門

郎

千らくと靴のさるる温泉の流

子

着了 繫テ 小 拙カスカテ 乃 鋭テ

可キ 登ト 下ク 有リ 記キ 宗ノ の 御ミコト 齋イハヒ

白シロ 己ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

時トキ 争ケル 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

来 川 漢 郎 虎 来 川 漢 郎 虎 来 川 漢

哭ナク 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

哭ナク 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

哭ナク 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

哭ナク 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

哭ナク 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

哭ナク 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

哭ナク 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

哭ナク 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

哭ナク 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ 乃ニ

漢 虎 郎 来 川 漢 郎 虎 来 川 漢

海の杉を海の... 五兩... 油の... 親の... 子... 神の... 上... 隅... 離

味... 川... 中... 漢... 川... 子... 虎... 郎... 来... 川

川、来郎虎子川漢中

後川... 希也

後川

希也

川... 撞... 申... 乃... 斤... 時... 川... 也... 川... 也... 川... 也

川也、川也、川也

夜神おろし 赤のくちり割
髪切く世の好くぬ夏おろし
あしきくしりて類 貞文く袖
りくぬく車裏院乃御所
目のやりの街き冬州
岩のくぬ丸きく枝の海雀
帯のく修 強は見ゆる山伏
振舞乃前へきを料理物
五丁ありありよきさ 笠棟

川也 川、也 川也 川

高直よふの中ありきみり
妻のくぬりりり太鼓くし
舟者の組きぬくし葉の累
情りく造りぬ 奥乃身抱き
大切よ 産乃くく挽茶白
土用乃 風きりよ記絶よぬく
秋近き 桐の葉分枝星月夜
禱に 瀬砂ありぬ 泉殿
任りのくしりぬる西けく

也、川也 川也 川、也

長り奢の乳母下 倍モノ臣

川

連付く 籠ふまりの乳朗

川也

本 綿シ朽リ 濁キ火ク記

川也

空架ふむシろキ空ク窓ノ茶キ

也

露シありリよりキるル露シ井

、川

根ありシ葉ノ丹ノ氣乃喰アし

川也

現乃チのシ多ク破レれル也

也

何ノ初ニ候ル屋ノ歎クんニ

川也

きシよシのシ灘乃唱音

也

尺ノ長クのシ下ノ川

、川

杉ノ古キのシ枯レるニ

、川

月明山水古茶

呂島

樓高シ遠キ乃月や流

、川

拂子よチに袖ふ露

可ト

葉ノ香を一ツふ百千の色分て

我々

みるをいふよキのシ流ル

五考

茶

為鹿誰半控一山ありん

暮山

朱傘より正尋す神の弱

後川

植うえよ植生隠し乃桃の妻

ト

る外英一妹の兄弟

鳥

西念のちの行どし一詠り讀りて

考

高福の中ある矢火日乃昼凡石

我

海芽生よ狐乃歌く葉の雷

鳥

圍よ何よふみ行よちの廻

ト

相撲の名形書よありて口惜也

我

弓振ありて月ちの産る

山

まよひく生るの叫み次丁の浦

ト

石の窟よ信り如く産乃火

考

世はりろく為よきとて為よ妻を

川

依御よ掃茶のちみもたしん

鳥

糸遊りよゆきれ日南の栲ツバ檨

考

貝壳廻を鳥まひ一記

我

時頼乃仁よちのきり詠を

鳥

位牌よちのきり詠の宿

ト

七

張籠よかきりあきる木の葉炭
あし乃羊よ二ふし乃鳥
情賣あも通るん 柏 亭
女の胸乃狭きりん 石橋
栗あよ瓜磨 楯のえとを
雲乃りしらの属さ 椋内
半天よ消る月 月の乾りあり
香れり 香しきよ 香 椋内
裾しりし 山 踏りあり 下 踏

我 考 山 川 鳥 考 我 川

雲母の筋と 昔は 野々氣
あかしき 雲よふきあ 入梅の中
柱ろりつる 番 匠り 下 知
相生よふも あ 部の 右 左
妙 形 短 紙 讀 白 瓦 香

考 鳥 卜 我 山

喜乃部

雲のよき 粉をれぬ 香色 山
高子 降ん とも 雲 香の香

鳥 考 漢 船

山梅や靨南小紅妹り直
素后
鏡ハモア一浦の場
二笑
崎鳥者巳く春留りさし
市山
暮るやあけりりりり
物りり
車大

芳花や 楊花

細く 花

花乃 色

芳の芽やあけ下花者 穢手
ツタ 暮三

物りけ乃 穢手 穢手
風鳴

春花也了 穢手の 穢手
白川

隈とあや 穢手の 中より 花乃 枝
八鬼

花灯の 清く 穢手 穢手
楓橋

山吹や 穢手 穢手 穢手
老木

川口や 穢手の 穢手 穢手乃 花の 層
風逸

花の 節

杉花 花乃 穢手 穢手 穢手
如芳

七

卯の道や宿の静けさおのそり
初野お若ふもくは丘のそり
岸の山よりあふく定るる水
るはきく一はとくはくは
くくくくくくくくくくくく
北童 女成 碧水

秋乃紙

山の道や麻乃熟るる古松月
清くは露なほく乃ありは
秋乃紙
流螢 石丈
美水

かきくと雲の波お静の風
葉をくくくくくくくくく
如卜
文臯

冬秋紙

初時白山を木賊乃乞子孫
不二野

芭蕉忌

乱舞の山の横より現るる
花あくくくくくくくくく
後川

並 亦 如 嘉 亦 嘉 亦 嘉 亦 嘉 山 々 々
於 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
於 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
於 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
於 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

伯居

渙船

素琴

之通

山 里 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
珠 十

珠十

而 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
几 十

几十

村 繼 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
仙 十

仙十

表 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
重 十

重十

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
二 十

二十

輝 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
暁 十

暁十

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
甫 十

甫十

轉 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦
百 十

百十

凡 流 乃 曲 者 之 一 乃 夜 枕 亦
江 涯

江涯

雲水

古國東海の陣跡はかき相州三浦とて
所は一院とやもゆる歴数代とて身はまはる
大竹の重臣作さくハ起す一母のりと新よ懐く
編月半より巻の旅よ飛するよりあや宇津の
高よ節一毎ハ宿まんのほれよはるはるほれ
まゝ一の奇人越るを乃つてありし宇津の山伏
片俣まんとくく郷まよありりりりりりり
ひーち〜を暖れハ出りハ山路乃ゆま
遺乃果の子あ多く〜り暗〜く〜るのあり

よ降のう〜ち気まハあつてまふ分たん
此〜のり〜他と相水せよと標と形も付た

遺カ果乃子あお喜

維村了の了あのと〜旅を極まよ
此集と探山の席よ位ける〜る
ふれとあ〜よ書れ

羽良三浦松島山主

釋希也

追加

四季

有季

有季

有季

有季

群 生 虫

号 之 お 色 っ

山 口 へ 屋

尾川

高垣

海 へ 舟 出 京 乃 中 行 帆 手 舟

虎 乃 屋 と 之 子 也

白鳳

海 心 橋 乃 那

一家ノ啼声ノ声色喜乃描

泥郎下

やまとも地花の中なる朱筆

蟻卵

草之や吊士乃写澤うらる里

世凉上

夏力や筆紙を形くハ日月

種子

けし子蓋ハ五尺乃小瓶の池

如童

涼一さお舟くくく演庇

貯夕

蝶写や了楽り水くく川

氷瑩

侍より也山鏡ハ氷屋持月

我々

西川乃侍真一秋の糸

えん女

空帷や火宅を写く秋の土

可未

行将乃画工山や多孔糞

大漠

作是く風色下くく菴ハ

呂鳥

風や書く吹入山くく

東冬

楓火紙かきくく細代を毎

鳥井

窓かけくく水ハ木の葉乃降おふ

鏡湖

る 妻 降 可 己 行 鬼 酔 乍 言

新 規 也 大 根 及 小 越 水 咽 蝶 化

題 雪

降 巾 子 也 大 哉 焚 舟 の 函 ち 紙 白 泉

抽 賣 乃 け け 一 花 色 也 雪 の 軒 一 川

幸 崎 也 雨 ち 雪 尺 寸 ち 扱 乃 雪 其 葉

細 流 也 室 端 子 雪 乃 新 白 也 里 中

初 雪 也 了 若 葉 子 雪 葉 の 雪 水 交

雪 也 雪 ち 雪 尺 寸 野 曰

大 雪 也 何 也 雪 人 ち 雪 の 汁 其 丹

雪 歌 仙 我 未

川 凡 の 小 雪 雪 尺 寸 聖 ち 紙

雪 尺 寸 川 雪 尺 寸 大 雪 尺 寸 杖 後 訓

門 雪 鏡 柱 ち 雪 尺 寸 氷 蟄

市 雪 鏡 板 ち 雪 尺 寸 可 来

月 明 ち 越 中 ち 飛 雪 ち 蟻 卵

福 ち ち 越 中 ち 駒 ち 何 ち 鞠 泥 郎

悔ふもあつぬ衣に肩より手

揮子

わさしをくく悔いんを

名鳥

物の葉乃度ふあまも常の

如童

真ま道程大寺豊碓土

大漠

海よりあはきししき十五丁

里中

何よりまはもあはくしや盲人

我

空柱乃ふきまらるれりまを

来

梅よりりあ初月あん

蝥

すけさきまの物きく猫の音

郎

出代に新家はつれかた

卵

海草生ふ恋あはるる左の愛

漠

すけあはるる傘より濡る袖口

子

新道のまぶおちりりし池の蹟

鳥

村よりあはるる吹花四五軒

郎

鳥籠の静きよあまをくしや也

蝥

るまはしきくあはるる井乃蓋

童

野よりあはるる漏るあはるる御傳の足

我

誰の念佛やうあはるるあはるる

中

賃 繼サシの解く一層く 糸の賃

朽木志左右以り糸く 藤茅

昔古以て糸く 一糸 軒の月

吸物 さえんれ 横乃 舞風

名古 毬より 登る 徳金の 腕玉

本綿仕入の 糸く 糸 小階

而毛りの 糸く ぬき 榎の 破

石と 糸く 糸 糸 裏

噓ウソの 糸く 糸 糸 糸

子

糸

即

漢

卵

鳥

童

我

来

二月も 既り 糸く 糸く 糸く

下枝 糸く 糸く 糸く 糸く

糸 糸 糸 糸 糸 乃 陽 糸

蚕

漢

子

古巻

糸く 糸く 糸く 糸く 糸く

糸 糸 糸 糸 糸

糸 糸 糸 糸 糸 戸を 糸

之味 線 糸く 糸く 糸く

里圃

馬

沽圃

馬 覓

芭蕉

夕月お空大庭空少て耳
念もやもれ秋空も形も
手取まよ又誰か下駄の音
大英の足赤ん 身重かた形
力あす腕あかす 一にありん
けく舞ふ甲斐も形た不係物
自佛堂ふあまよ知法もん
阿のさとほあかかゆの難舞計
初の跡お知まのお湯あま

蕉 菟 圃 蕉 菟 圃 蕉 菟 圃 蕉 菟 圃

伏尼の橋も京の名強しを
晴へあかか入る夏羽織
親司くくと皆可也うれ
月名の音う仕るまも豆満
陽をあかか 降ハる水も季
瀧水のあかか 降る春の風
門の左も 見様いえ様
時乃皆一 村るの降通
菖より 毘毘と出ス 輝丸

蕉 菟 圃 蕉 菟 圃 蕉 菟 圃 蕉 菟 圃

鳥了ふおねね多の志進うい
音の細江の山はかり志
入口を松はくくの牛扉
佛あり神の歌すし
里長の小袖は襟乃のり
ゴスの茶碗と壺りお出さし
あふ祥乃二階は屋台子田飛
月と憐り 願 願とゆり
祈りゆり一巻尺ゆりふ

圃 菟 圃 蕉 菟 圃 蕉 菟 圃

菊 一 酢かき袖の切形
秋の空年々下靴 旗印者
奉加帳り無 舟ぬありりり
不片候よ花咲山乃阿と位
田舎あり谷 舟あり 常る

圃 菟 圃 蕉 菟 圃

一日一箱坊予は預りてよ古は昔の意約
猿蓑集のしちよ寺仙ありとみ杉風
あまして別よ此古巻ありきり世よ
おけりうあさほとあしりて 葉十ぬは

漂泊年と累年一とくも得るに
かゝん事よあゝと并せたりし事
横目のかゝるよとくも也

後川

藤下海にありては
幸ひ哉一物も
女は心も
藤下海にありては

暮柳舎藏

天明六年丙午春三月穀旦

賀洲金澤府博勞町

板木師平藏

同

市郎右衛門

梓行

